

京都SDGsパートナー登録証



ACRIUS合同会社は、
SDGs、CO₂ゼロに
取り組むことを宣言します。

●2030年のSDGs達成に向けた目指す姿と運営・事業方針●

情報社会において自然な「ありがとう」を簡単に伝えられる、意思疎通方法の最適化を目指し、WEB技術の企画開発と自然言語処理の研究を行っています。「人間の叡智とAI技術を融合することで分け隔たりの無い未来を創造する」を理念に、未来の産業や文化の創造の基盤となる技術開発に取り組み、社会の発展を目指します。

●SDGsに関する重点的な取組●

【経済】WEBメディア配信技術を活用した、誰もが平等に情報にアクセスできる、インターネットを通して、消費者の需要に応えることで、消費の拡大につなげるとともに、情報格差による不平等の削減を推進することで、消費意欲を拡大、外食産業の活性化を目指し、需要と供給のバランス改善に貢献します。

【社会】女性が活躍できる環境づくりのため、在宅勤務やサテライトオフィスの導入など、多様な勤務形態に対応できるよう、就業環境を常に改善しています。女性従業員の未来のキャリア形成を考えて、四半期に一回勉強会を開催し、新たな価値観の醸成や、起業支援を積極的に行い、女性が能力を発揮できる社会づくりに貢献します。

【環境】独自のWEBサービスを活用した、飲食店が提供するクーポンの配信を通して、最適化した食品価格の提示を行うことで、消費者が余剰の食品を楽しむ機会を創出し、食品ロス削減に貢献します。

●文化や地域活動に関する重点的な取組●

自然保護と地域社会貢献を目指して、東京都、神奈川県、北海道余市町の海浜公園や札幌市内の創成川を中心に、清掃活動を半年間に1回実施します。地域住民とつながりを深めながら、従業員の環境保全への関心や、自然保護活動への参加意欲の向上を図り、地域の自然環境保護に尽力します。

※ 記載の取組内容やその効果、登録者自体を保証するものではありません。

登録番号 00498

登録期間 2024年11月15日 ~ 2026年11月14日

ACRIUS合同会社



京都超SDGs
コンソーシアム



京都市
CITY OF KYOTO

京都SDGsパートナー制度は、オール京都でSDGsを推進する「きょうとSDGsネットワーク」を構成する制度の一つです。SDGsの社会実装を目指す産学公連携組織「京都超SDGsコンソーシアム」と京都市が連携し、実施しています。

